



電動油圧手術台 取扱説明書

MUT-500SR
MUT-500

動物用

目次

| | |
|-------------------|----|
| ◆注意事項 | 2 |
| 取扱説明書に関する注意事項 | 2 |
| 機器を設置するとき | 3 |
| ◆構成 | 5 |
| 各部の名称 | 5 |
| ●本体 | 5 |
| ●電源スイッチ | 5 |
| ●操作ボックス | 6 |
| MUT-500SR | 6 |
| MUT-500 | 7 |
| ●フットスイッチ (オプション) | 8 |
| MUT-500SR | 8 |
| MUT-500 | 8 |
| アクセサリ | 9 |
| 仕様 | 10 |
| ◆操作方法 | 11 |
| 電源の入れかた／切りかた | 11 |
| 操作ボックスによるポジション | 12 |
| ●Eスイッチ | 12 |
| ●手術台固定 | 13 |
| ●ブレーキ解除 | 13 |
| ●縦 転 | 14 |
| ●横 転 | 15 |
| ●スライド (MUT-500SR) | 15 |
| ●昇 降 | 16 |
| 補助板 | 17 |
| 保定レール金具 | 18 |
| ◆保守点検 | 20 |
| お手入れのしかた | 20 |
| アフターサービスについて | 21 |
| 保証について | 22 |

△ ご使用の前に取扱説明書をお読みください。

注意事項

取扱説明書に関する注意事項

使いかたをまちがえると故障または事故の原因になります。

使用する方は、この手術台の操作を行う前に本書をよくお読みください。

- 本書の説明が完全に自分のものとなるまでは手術台をご使用にならないでください。
- 常に本書を手元に保管し、繰り返しお読みください。
- 本書を紛失または損傷した場合は、ご購入店または弊社にお問い合わせください。
- 手術台を譲渡されるときは、次の所有者に、必ず本書を添付し譲渡してください。
- 製品の不断の改良により、詳細において本書の内容と異なる場合があります。
不明な事柄については、ご購入店または弊社にお問い合わせください。

● 絵表示について

この取扱説明書の表示では、手術台を安全に正しくご使用いただき、お客様や患畜への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は以下のようになっています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人または患畜が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人または患畜が障害を負う可能性が想定される内容および物的障害の発生が想定される内容を示しています。

補 足

この表示は、製品の機能について、補足事項を示しています。

機器を設置するとき



手術台の取扱いについて

使用前に

- 電源スイッチ・操作ボックスおよびハンドルを操作して、正常に作動することを確認してください。

用途と異なる目的での使用

- 手術台を踏み台など、用途と異なる目的で使用しないでください。転倒・損傷・怪我の原因になります。

電源コードの取扱い

- 電源コードを取り外すとき、コードを無理に引っ張らないでください。無理に引っ張ると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。(→11ページ)
- 電源コードの上に重量物を置いたり、ストレッチャーなど、キャスターの付いた機器で乗り越えたりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。(→11ページ)
- 電源コードを医用コンセントから引き抜く位置に、引き抜く作業を妨げる物を置かないでください。(→11ページ)
- 電源コードが傷んだら(芯線の露出・断線など)ご購入店または弊社に交換をご依頼ください。火災・感電の原因になります。(→11ページ)

故障時の取扱い

- 手術台の電源を切り、電源コードのプラグを医用コンセントから外してください。
- 手術台に「故障」「使用禁止」などの表示を行い、ご購入店または弊社にご連絡ください。
- 手術台は分解しないでください。火災・感電の原因になります。
- 転落防止のため、必ず支持器、ベルト、ロープ等で患畜を固定してください。(→12ページ)
- 体毛の巻き込みや神経麻痺防止のため、患畜の体位設定は慎重に行ってください。(→12ページ)
- ブレーキ解除を作動中、ベースに足を挟まないでください。(→13ページ)
- 低い位置で頭上がりを設定するときは、足を挟まないでください。また、テーブルトップが床に接触するまで作動させないでください。(→14ページ)
- 転倒防止のため、主板上に座ったり、下記(※)を超える荷重をかけたりしないでください。(※MUT-500 : 60kg MUT-500SR : 40kg) (→16ページ)
- 取り外した補助板を取り付けるときは、必ず補助板固定ハンドルを締めてください。(→17ページ)
- 転落防止のため、補助板上に座ったり、15kgを超える荷重をかけたりしないでください。(→17ページ)
- 必ず固定ハンドルを締めてください。(→18ページ)

注意

- 手術台を約 3 分連続して操作した場合、約 30 分の休息時間を設けてください。モーターがオーバーヒートすると操作ができなくなります。約 60 分の休息時間を設けると通常通り操作を行うことができます。(→12ページ)
- ロープは別途用意してください。(→19ページ)
- 他社製のアクセサリを使用する場合は、必ず装着可能なものか確かめてください。寸法が異なり装着ができないものがあります。(→19ページ)

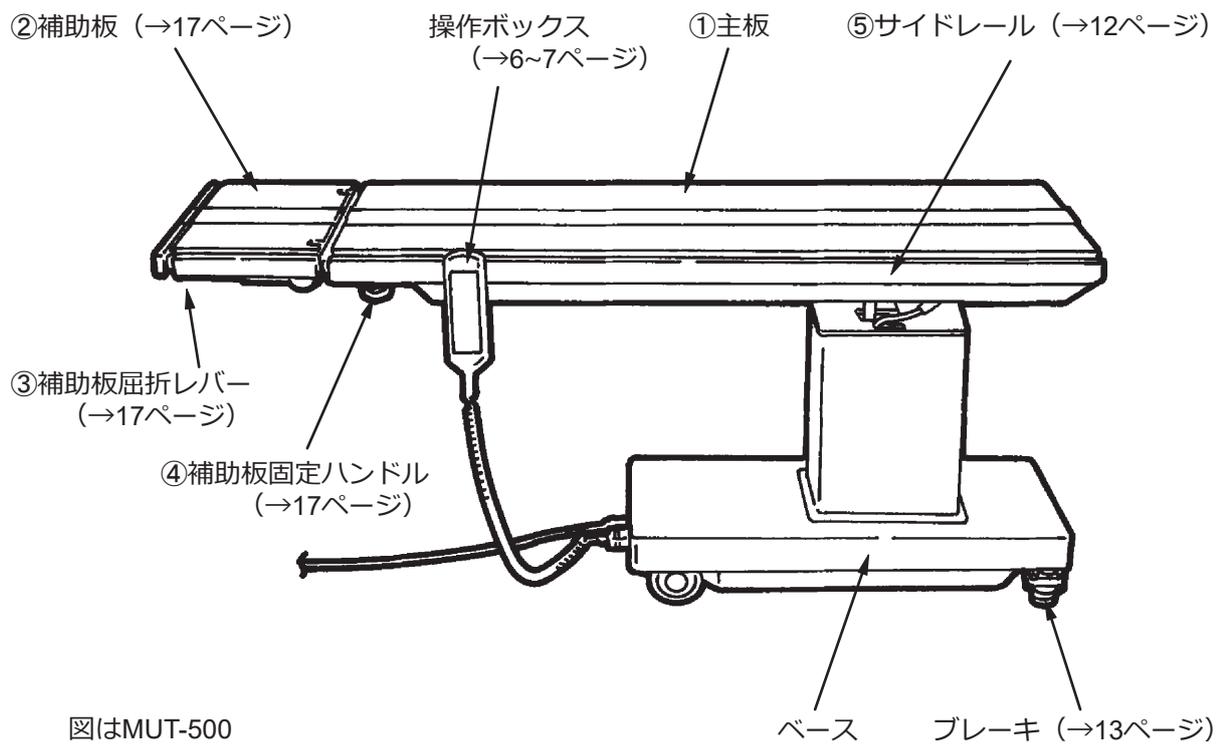
構成

各部の名称

このページは装置の使いかたの索引としても利用できるようにしました。
詳しい説明は () のページをご覧ください。

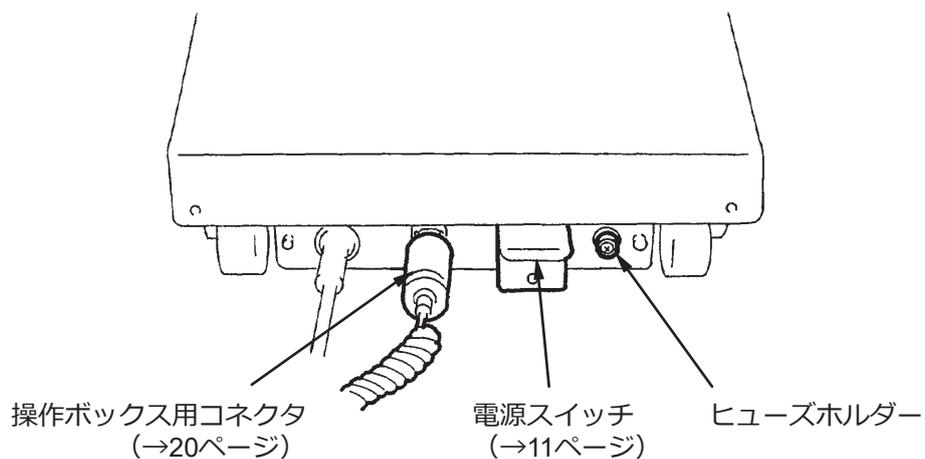
● 本 体

①～⑤テーブルトップ



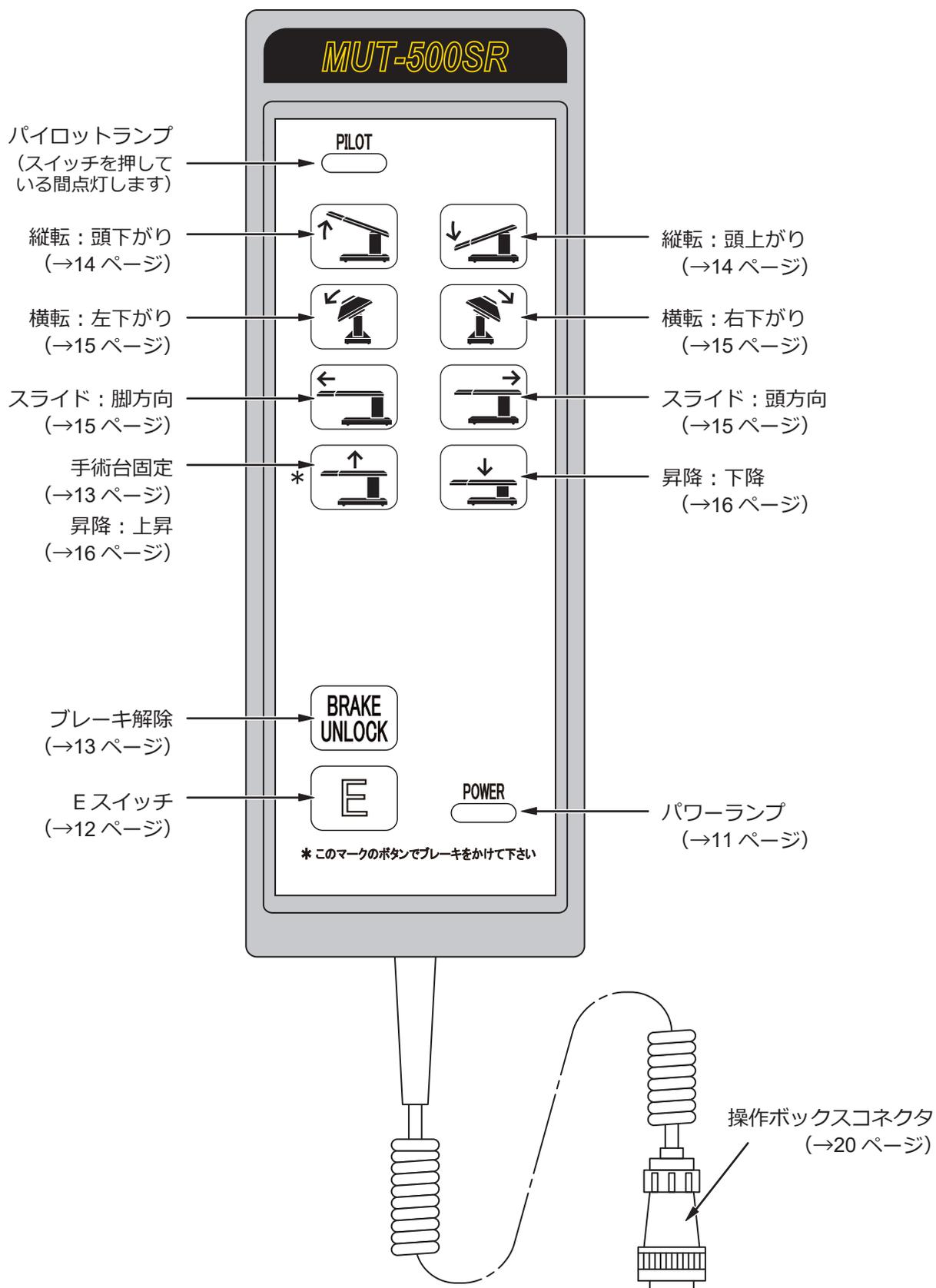
図はMUT-500

● 電源スイッチ

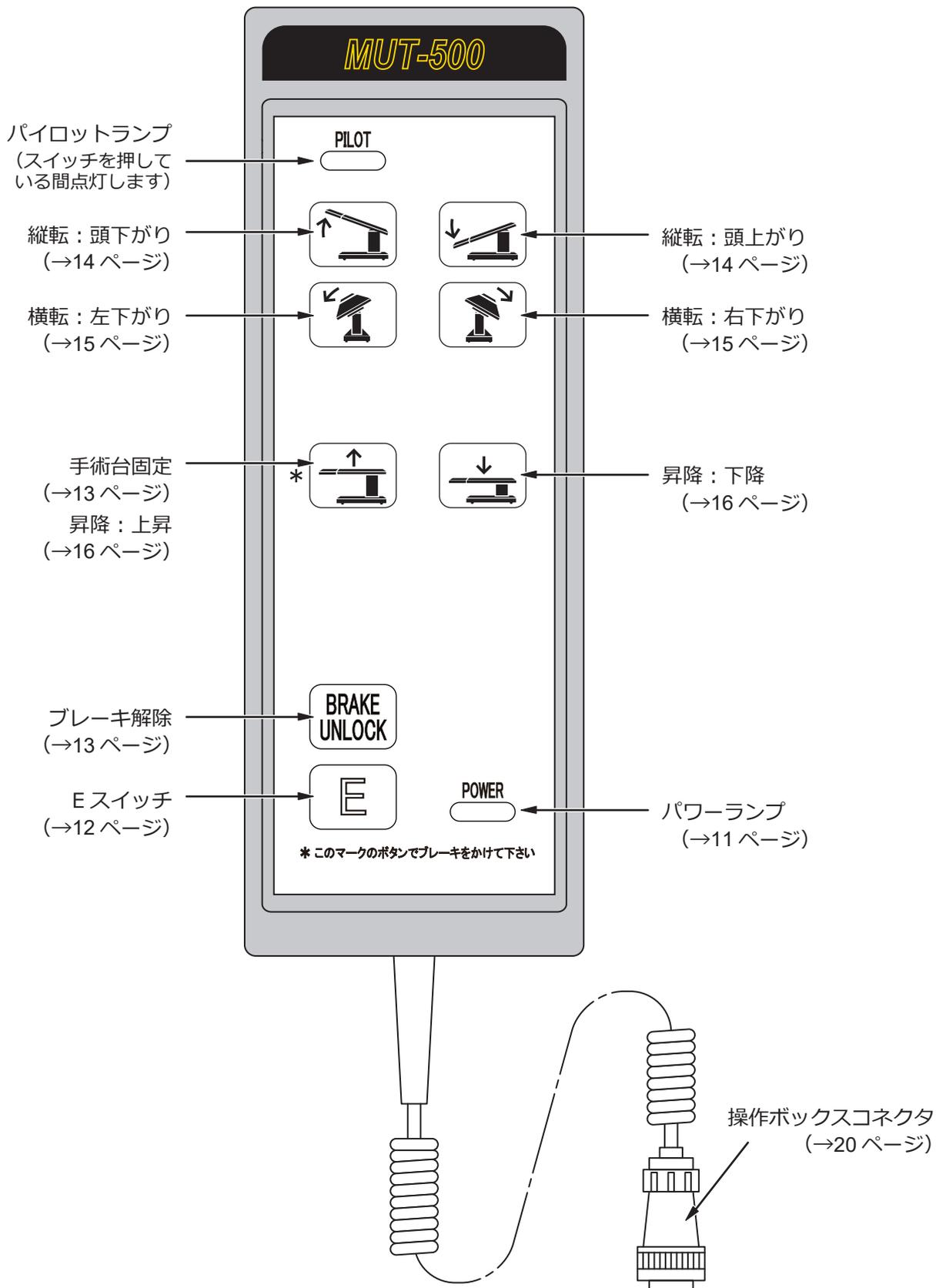


● 操作ボックス

MUT-500SR

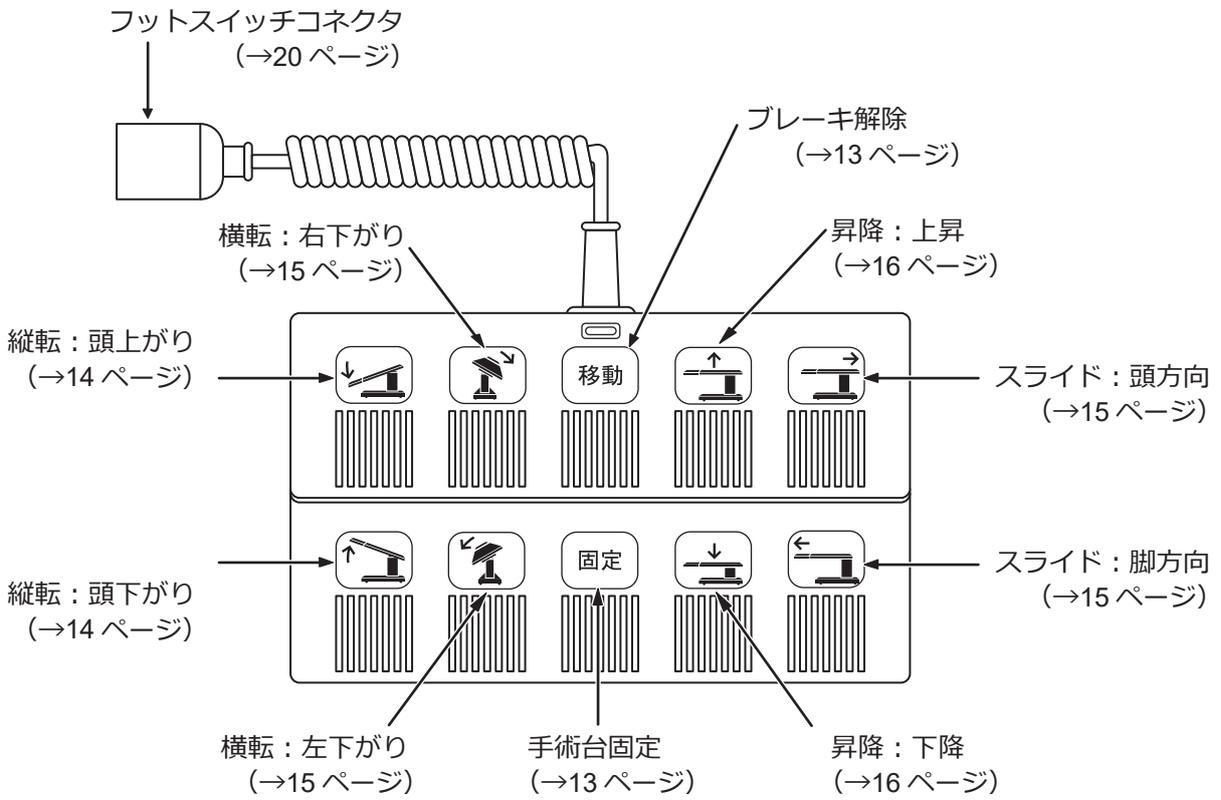


MUT-500

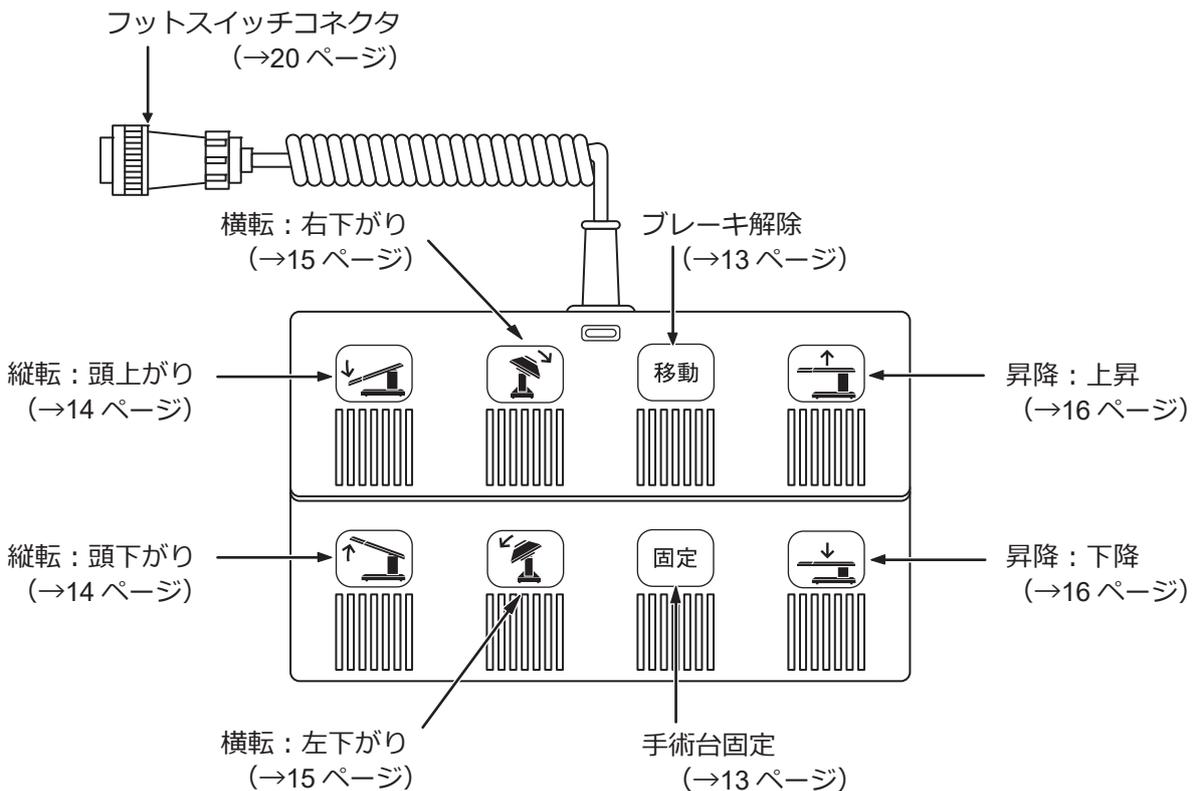


● フットスイッチ (オプション)

MUT-500SR

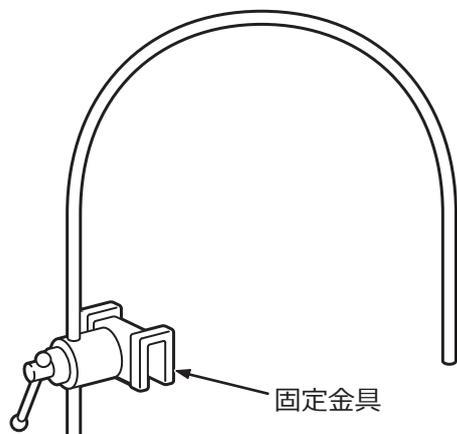


MUT-500

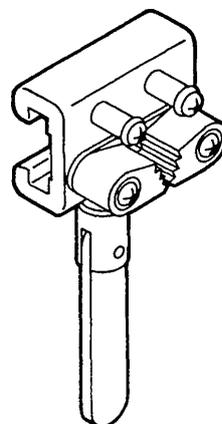


アクセサリ

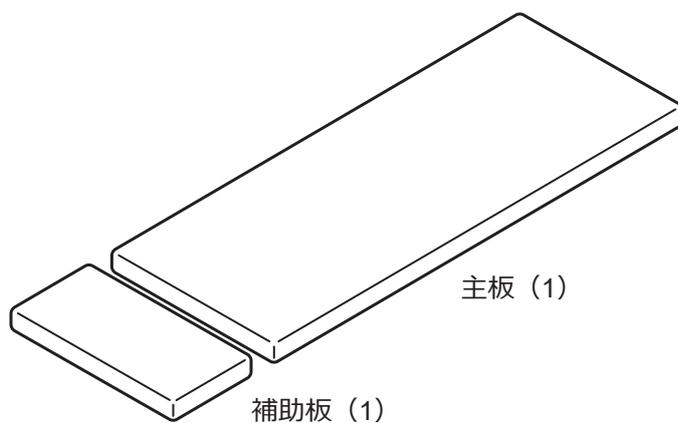
- 丸型スクリーン掛け（1台）



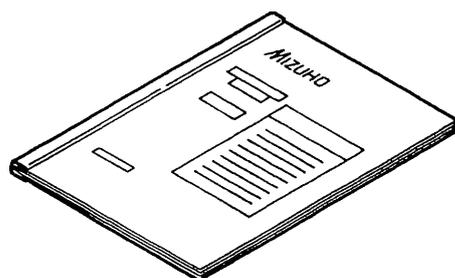
- 保定レール金具（4台）
（→18ページ）



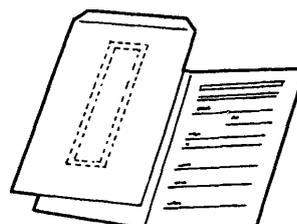
- マットレス（1組）



- 取扱説明書（1冊）



- 保証書登録カード（1枚）
（→22ページ）

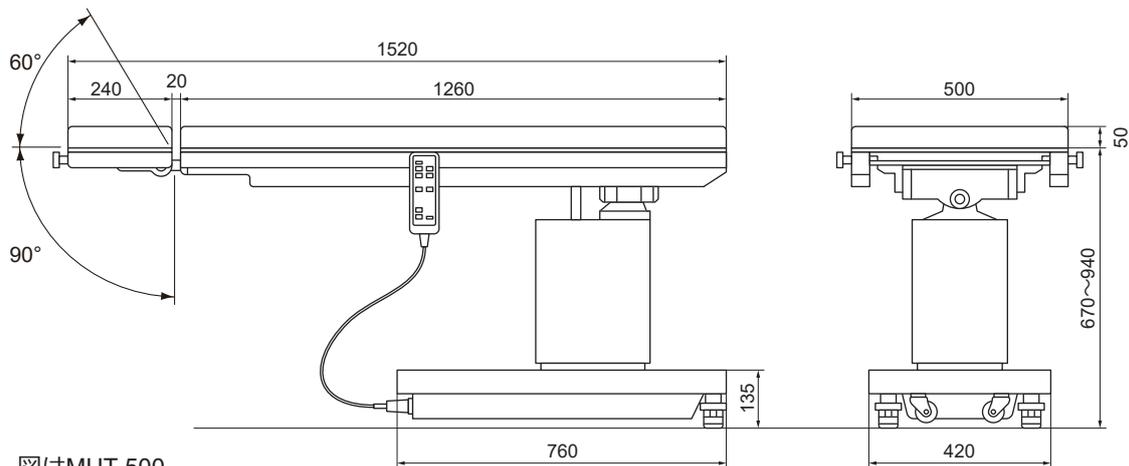


仕 様

| | | | |
|------------------|------------------|-----------------------------|--------------------------|
| 販売名 | | MUT-500SR電動手術台 | 電動油圧手術台MUT-500 |
| 製造販売業許可番号 | | 26製販療Ⅱ第100号 | |
| 製造販売届出番号 | | 20動薬第1891号 | 21動薬第4156号 |
| 分 類 | 類 別 | 機械器具1 手術台及び治療台 | |
| | 一般の名称 | 中・小動物用手術台及び治療台 | |
| | クラス分類 | 一般医療機器 | |
| 商品名 | | 電動油圧手術台MUT-500SR | 電動油圧手術台MUT-500 |
| 電 | 昇降範囲 | 最高位 | 940mm ± 20mm |
| | | 最低位 | 670mm ± 20mm |
| | 縦転角度 | 頭上がり | 25° ± 2° |
| | | 頭下がり | 25° ± 2° |
| | 横転角度 | 左下がり | 25° ± 2° |
| | | 右下がり | 25° ± 2° |
| スライド量 | 頭方向 | 100mm ± 10mm | |
| | 脚方向 | 200mm ± 10mm | |
| 動 | ブレーキ | 固定/解除 | |
| | 操作機器 | 操作ボックス | 昇降、縦転、横転、スライド、ブレーキ、Eスイッチ |
| | | フットスイッチ (オプション) | 昇降、縦転、横転、スライド、ブレーキ |
| 手 動 | 補助板 屈折角度 | 上がり | 60° |
| | | 下がり | 90° |
| | 取り外し | 補助板 | |
| 電 気 定 格 | JIS T0601-1による分類 | クラス I 機器 B型機器 | |
| | 定格電圧 | AC100V | |
| | 周波数 | 50/60Hz | |
| | 電源入力 | 450VA | |
| | 操作電圧 | DC5V | |
| | 連続作動時間 | 3分 ON、30分 OFF : 注4 | |
| 寸 法 | テーブルトップ寸法 | 1520mm (長) × 500mm (幅) : 注1 | |
| | ベース寸法 | 760mm (長) × 420mm (幅) | |
| 質 量 | | 190kg | |
| 許容患者体重 | | 60kg | |
| 使 用 環 境 | 周囲温度範囲 | 10°~40° : 注2 | |
| | 相対湿度範囲 | 30%~75% : 注2 | |
| | 気圧範囲 | 700hPa~1060hPa : 注2 | |
| | 耐用期間 | 製造出荷後10年 : 注3 | |

注1 : サイドレール部を除く 注2 : JIS T0601-1医用電気機器 - 安全に関する一般的要求事項 (環境条件)
 注3 : 自主基準 (推奨する保守点検を行った場合) 注4 : 手術台の連続作動時間と休息时间

外観図



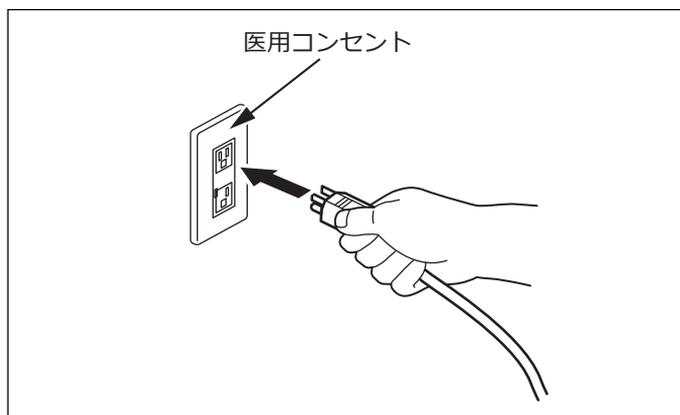
図はMUT-500

(mm)

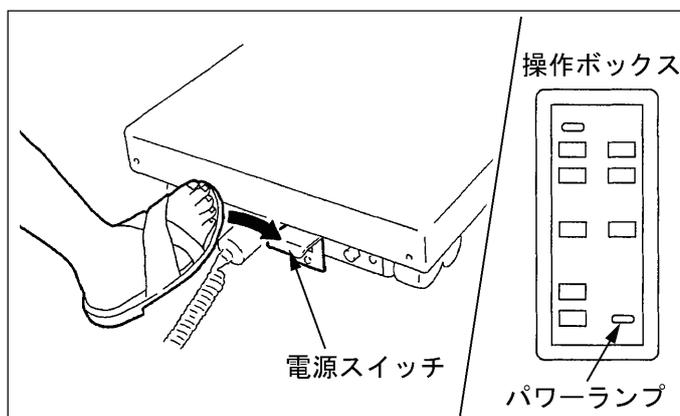
操作方法

電源の入れかた／切りかた

1. 電源コードを医用コンセントに差し込みます。



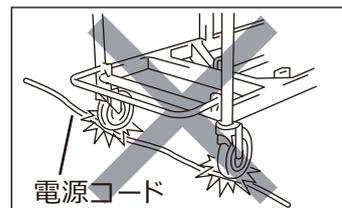
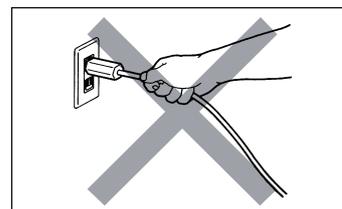
2. 電源スイッチを踏みます。
操作ボックスのパワーランプ
(緑) が点灯します。



3. もう一度電源スイッチを踏むと電源が切れます。

警告

- 電源コードを取り外すとき、コードを無理に引っ張らないでください。無理に引っ張ると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 電源コードの上に重量物を置いたり、ストレッチャーなど、キャスターの付いた機器で乗り越えたりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 電源コードを医用コンセントから引き抜く位置に、引き抜く作業を妨げる物を置かないでください。
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）ご購入店または弊社に交換をご依頼ください。火災・感電の原因になります。



操作ボックスによるポジション

● **E** (Eスイッチ)

操作ボックスは、機能スイッチと同時に **E** (Eスイッチ) を押してください。スイッチを押している間は機能が作動し、離すと停止します。各機能は最大限に達すると作動が停止します。作動が停止したらスイッチを離してください。

警告

- 転落防止のため、必ず支持器、ベルト、ロープ等で患畜を固定してください。
- 体毛の巻き込みや神経麻痺防止のため、患畜の体位設定は慎重に行ってください。

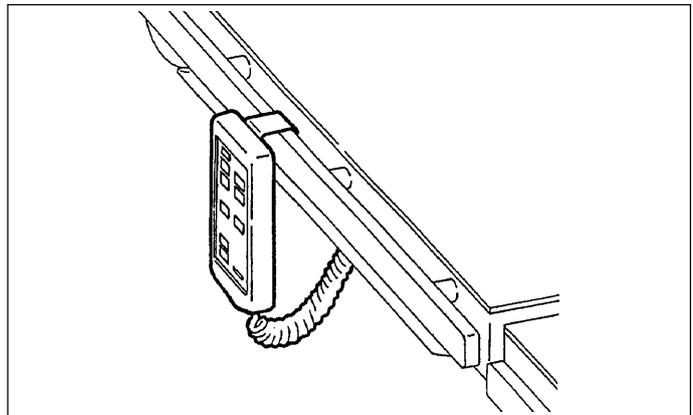
注意

- 手術台を約 3 分連続して操作した場合、約 30 分の休息時間を設けてください。モーターがオーバーヒートすると操作ができなくなります。約 60 分の休息時間を設けると通常通り操作を行うことができます。

補 足

E (Eスイッチ) とは？

- 術者が偶然操作ボックスのスイッチに接触して起きる誤作動を防止するスイッチです。各機能は、機能スイッチと同時に **E** (Eスイッチ) を押さなければ作動しません。
- 操作ボックスを使用しない時はサイドレールに掛けてください。



●手術台固定

E と  を押します。<フットスイッチ： **固定** を踏みます。>

ワンタッチでブレーキが作動して手術台が固定されます。ブレーキの作動が完了するまで昇降は作動しません。

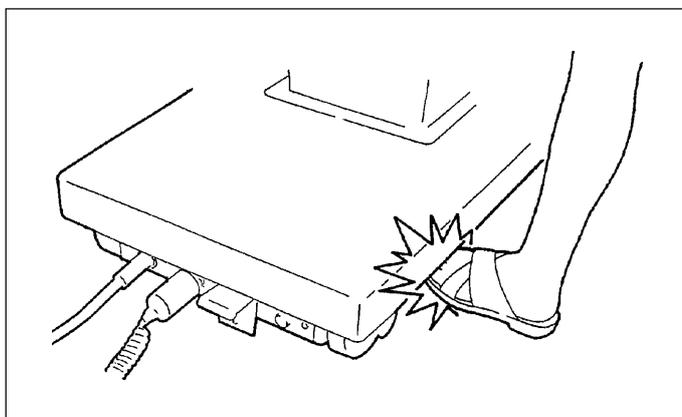
●ブレーキ解除

E と  を押します。<フットスイッチ： **移動** を踏みます。>

ワンタッチでブレーキが解除されます。

警告

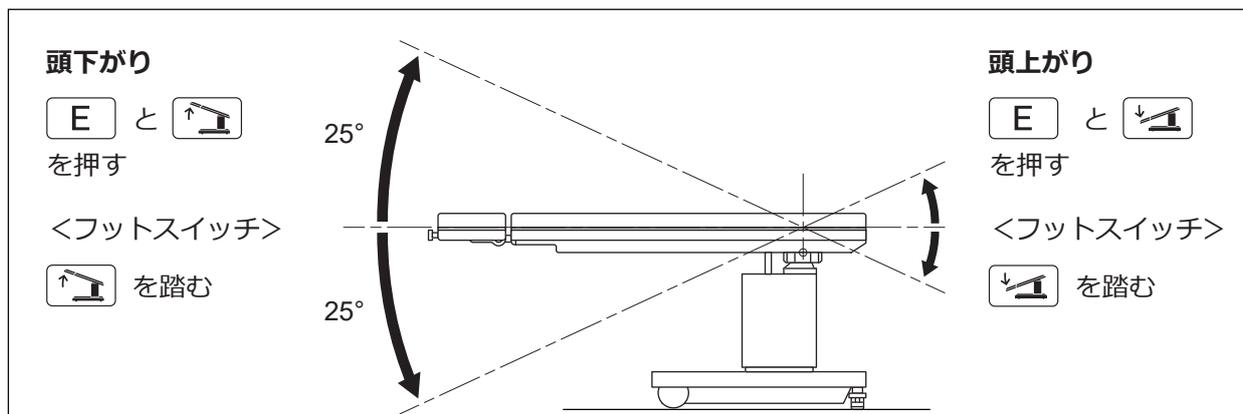
- ブレーキ解除を作動中、ベースに足を挟まないでください。



補 足

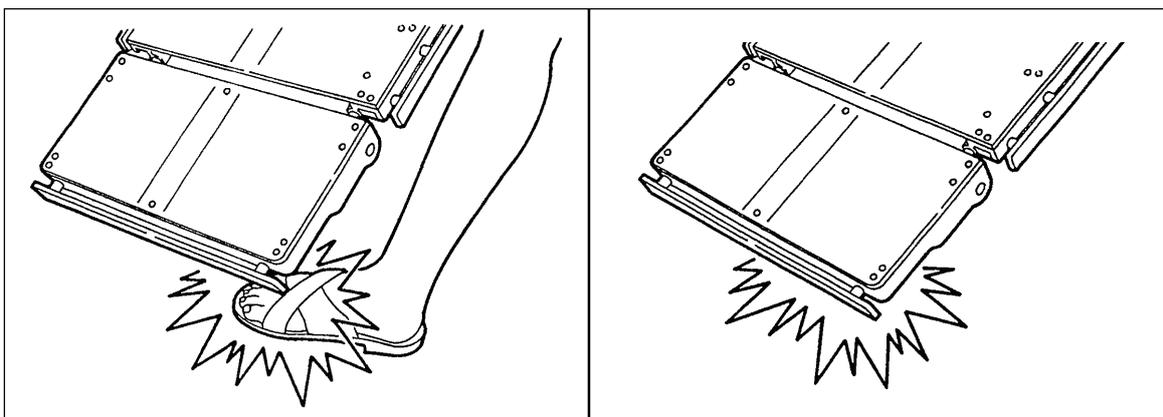
- 作動中にスイッチを離すと（作動が）停止しますが、手術台固定とブレーキ解除は一度 **E** と  または  を押すと、後はスイッチを離しても（作動が）完了するまで作動します。
- ブレーキは電源を入れて最初に押す機能スイッチと **E**（Eスイッチ）で作動する機能です。つまり （縦転）や （横転）を最初に押してもブレーキは作動します。ただし、本手術台ではポジション設定時の患畜に与える影響のない （上昇）を最初に押すことを表記しています。

● 縦 転



警告

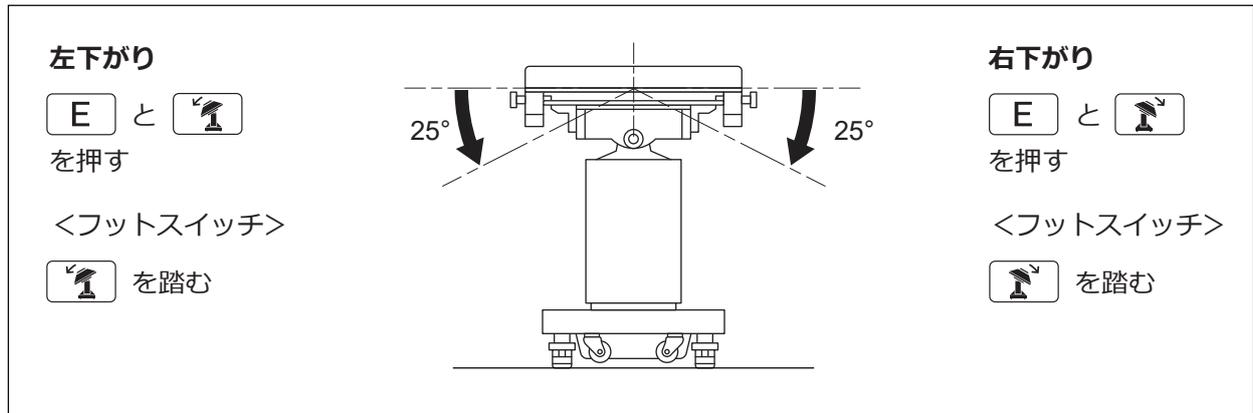
- 低い位置で頭上りを設定するときは、足を挟まないでください (図A)。
 また、テーブルトップが床に接触するまで作動させないでください (図B)。



図A

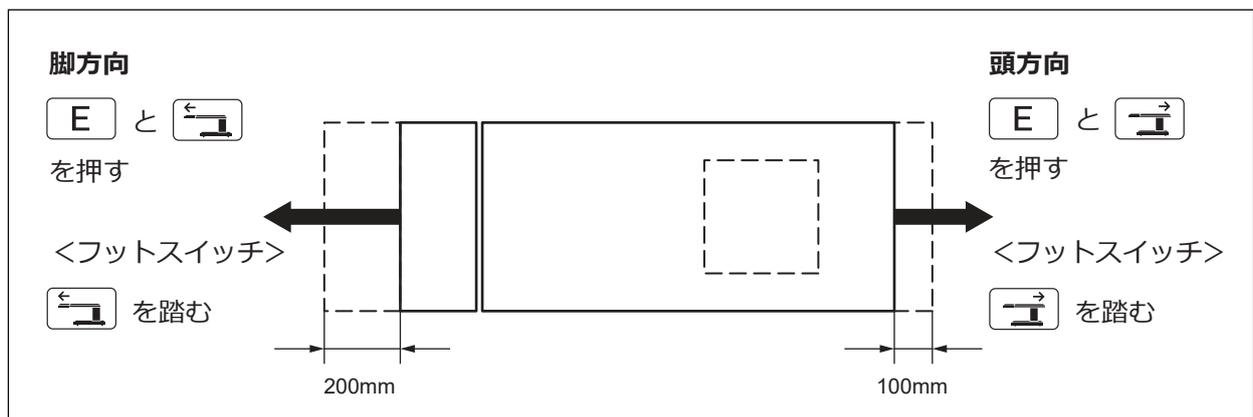
図B

● 横 転

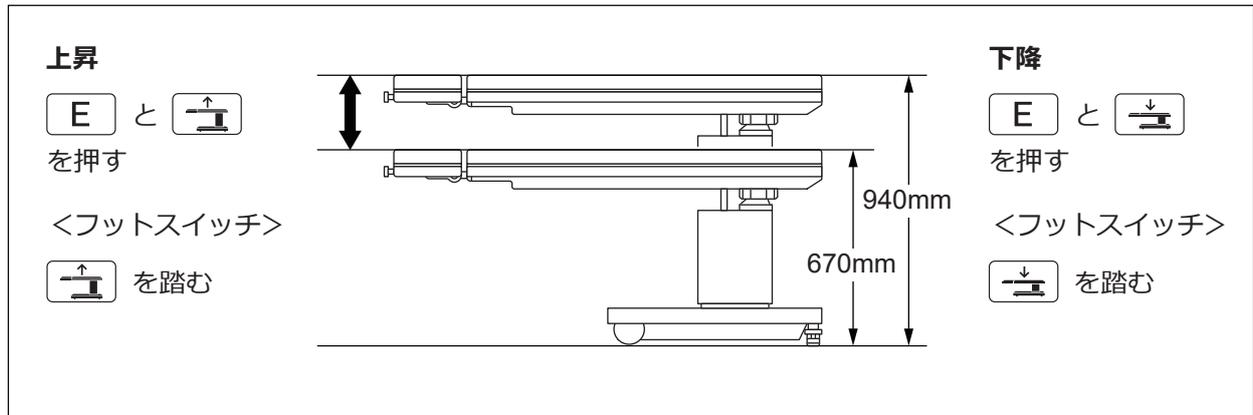


横転の左右は主板正面が基準です。

● スライド (MUT-500SR)



● 昇 降



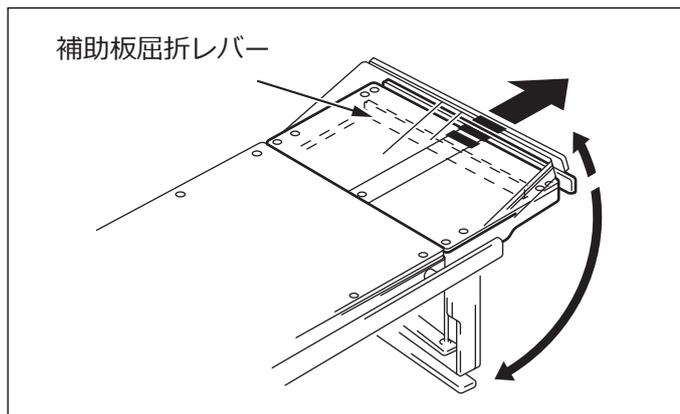
警告

- 転倒防止のため、主板上に座ったり、下記（※）を超える荷重をかけたりしないでください。
（※MUT-500：60kg MUT-500SR：40kg）

補助板

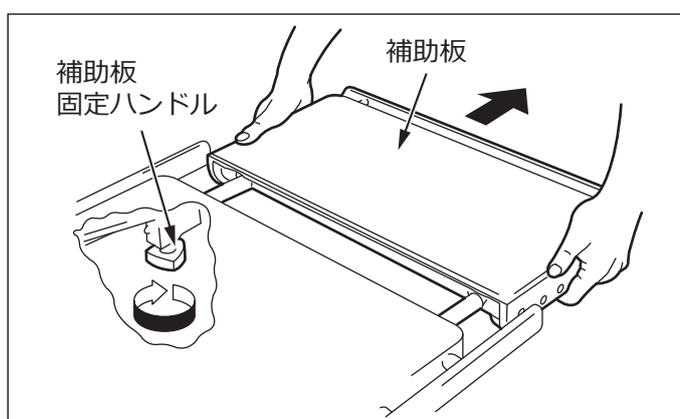
屈折

1. 補助板屈折レバーを手前に引きます。
2. 上に4段（最大60度）、下に6段（最大90度）屈折します。



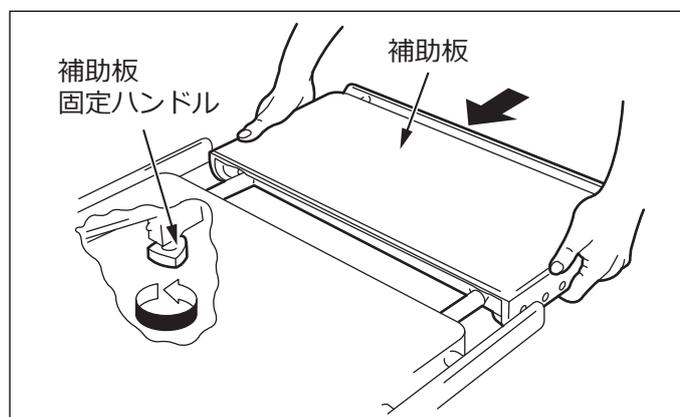
取り外し

1. 左右の補助板固定ハンドルをゆるめます。
2. 補助板の両側を持って手前に引きます。



取り付け

1. 補助板の両側を持って補助板の差込軸を主板の差込孔に合わせ挿入します。
2. 左右の補助板固定ハンドルを締めます。

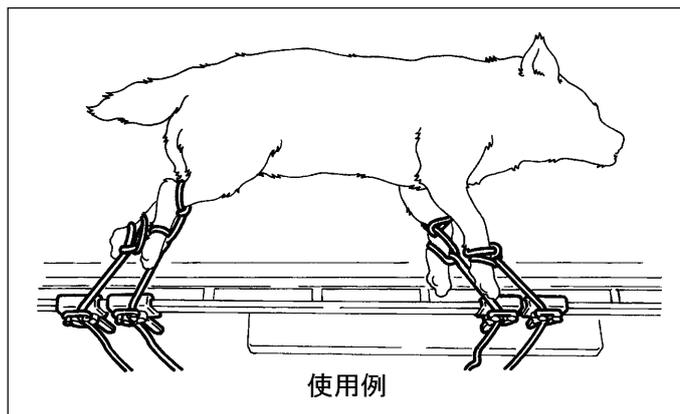


警告

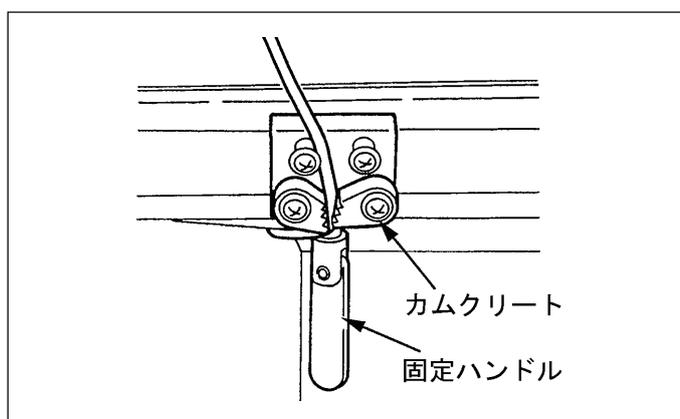
- 取り外した補助板を取り付けるときは、必ず補助板固定ハンドルを締めてください。
- 転落防止のため、補助板に座ったり、15kgを超える荷重をかけたりしないでください。

保定レール金具

1. 保定レール金具をサイドレールに取り付け、固定ハンドルを回して固定します。
2. 手術体位を設定して患畜にロープをつなげます。

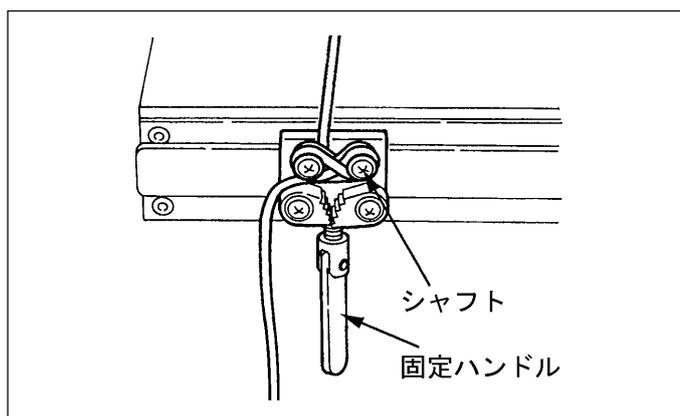


3. 保定レール金具にロープを通して、カムクリートによって固定します。



補 足

- ロープが細い場合は、シャフトに引っかけて固定します。



警告

- 必ず固定ハンドルを締めてください。

 **注意**

- ロープは別途用意してください。
- 他社製のアクセサリを使用する場合は、必ず装着可能なものか確かめてください。
寸法が異なり装着ができないものがあります。

保守点検

お手入れのしかた

- 必ず電源を切ってから行ってください。また電源コードは必ず医用コンセントから抜いてください。
- 手術台は消毒液・洗浄水・血液等の侵入を防ぐ構造になっていますが、水や消毒液をかけて洗うことは避けてください。
- 本体やアクセサリの表面は、指定された消毒液（注）を含んだ柔らかい布で清拭してください。固いたわしやみがき粉は表面を傷めますので使用しないでください。

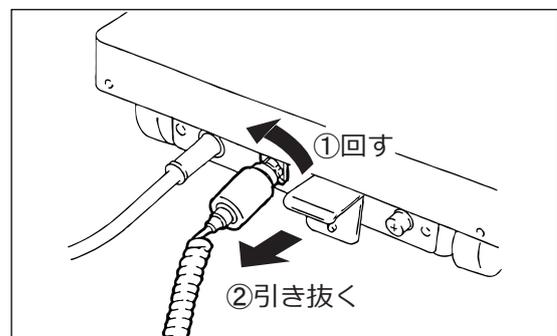
注：弊社指定の消毒液

| | 薬品名称 |
|----|------------------------------|
| a) | 次亜塩素酸ナトリウム 0.1%（ハロゲン系薬剤） |
| b) | ハイポアルコール（ヨード脱色剤） |
| c) | クロルヘキシジン（グルコン酸クロルヘキシジン 0.5%） |
| d) | 塩化ベンザルコニウム（逆性石けん 10%） |
| e) | ポピドンヨード |
| f) | エタノール 80% |
| g) | オキシドール（過酸化水素水） |
| h) | 生理食塩水（0.9%） |
| i) | イソプロピルアルコール（IPA） |

補 足

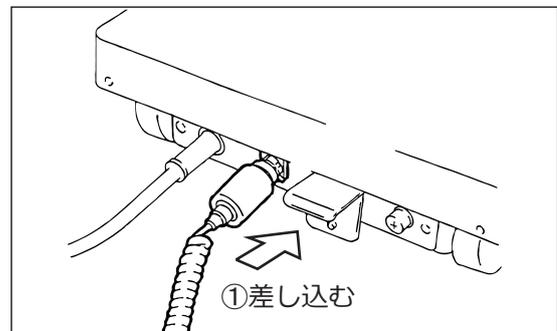
操作ボックスコネクタの取り外し方

1. コネクタのリングを矢印方向に回して手前に引き抜きます。



操作ボックスコネクタの取り付け方

1. コネクタのガイドに合わせて差し込みます。



アフターサービスについて（修理を依頼される前に）

次のような場合は故障ではないことがありますので、修理をご依頼される前にもう一度お調べください。

| | |
|-----------------------------------|--|
| 電源が入らない | 操作ボックスのコネクタは差し込んでいますか？（←20ページ） 電源コードのプラグは差し込んでいますか？（←11ページ） |
| 操作ボックスまたはフットスイッチの機能スイッチを押しても作動しない | 操作ボックスまたはフットスイッチのコネクタは差し込んでいますか？（←20ページ） 各機能スイッチと同時に E （Eスイッチ）を押しましたか？（←12ページ） |

それでも異常があるときは故障が考えられます。ご購入店または弊社にご連絡ください。
（→22ページ）

保証について

本製品は下記の保証修理規定に従って修理いたします。

<保証修理規定>

1. 保証期間は納品 / 設置日から 1 年間です。保証期間内に取扱説明書等の注意書に従ったご使用で故障した場合には無償修理をさせていただきます。
2. 修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店または弊社営業所にお申しつけください。お申しつけに当たっては以下の内容をご連絡ください。
 - (ア) 型名
 - (イ) 製造番号（製品のラベルをご確認ください）
 - (ウ) 故障の状態
3. 保証期間内でも以下の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (ア) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (イ) お買い上げ後の設置場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - (ウ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
 - (エ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
 - (オ) 消耗製品が自然劣化し消耗部品を取り替える場合。
 - (カ) 前各号に掲げる場合のほか、故障の原因が、お客様の使用方法にあると認められる場合。
4. 保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社営業所にお問い合わせください。
5. 本規定は日本国内においてのみ有効です。

以上

ミズホ株式会社

■ 本社 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目30番13号

● 小動物課

専用TEL ☎ 0120(88)7554

専用FAX ☎ 0120(78)7554

E-mail: v@mizuho.co.jp

<https://www.mizuho.co.jp>

■ 営業拠点

● 北海道センター

〒060-0807 札幌市北区北7条西2丁目6番地 37山京ビル2F
TEL 011(716)4731 FAX 011(716)4803

● 東北センター

〒980-0014 仙台市青葉区本町1丁目11番2号 SK仙台ビル2F
TEL 022(227)1688 FAX 022(227)1698

● 新潟センター

〒951-8068 新潟市中央区上大川前通七番町1230番地7 ストークビル京橋6F
TEL 025(229)5458 FAX 025(222)4684

● 北関東センター

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目30番13号
TEL 03(3815)3193 FAX 03(3815)1280

● 東海センター

〒464-0075 名古屋市中区千種区内山3丁目17番4号 スズシン第2ビル3F
TEL 052(732)7130 FAX 052(732)7131

● 関西センター

〒550-0004 大阪市西区靱本町1丁目10番24号 三共本町ビル7F
TEL 06(6444)3840 FAX 06(6444)3860

● 中国センター

〒730-0029 広島市中区三川町7番7号 三川町パーキングビル13F
TEL 082(241)8826 FAX 082(241)8836

● 九州センター

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3丁目1番1号 ノーリツビル福岡5F
TEL 092(431)5022 FAX 092(474)4483